

る〜ぶい

2024
vol. 63



平松畜産株式会社

ユーザー
探訪

独自の循環型モデルを組み立て
地域の品質向上にも貢献する
日本有数の大規模畜産業

お客様の絵紹介

イラスト：菅野れあ 様



る〜ぶ^o vol.63 2024 CONTENTS

【ユーザー探訪】 平松畜産株式会社

独自の循環型モデルを組み立て
地域の品質向上にも貢献する
日本有数の大規模畜産業 …………… 3

お客様の絵紹介 …………… 2

Products and Solutions 製品情報 …………… 8

営業所紹介●大隅営業所 …………… 11

●十勝支社 …………… 12

新入社員に聞きました! …………… 14

アグリフォーカス●スマート農業導入による農業の新たな展開 …………… 16

耕の記憶●民話から紐解く―“怖いけれど守ってくれる…” 蛇神さまの横顔 …………… 17

技術情報●JALTESTご紹介 …………… 18

WORLD TOPICS●アグリテクニカアジア マッセイファーガソン
ディーラーミーティング in バンコク 2024 … 19

ユーザー探訪
平松畜産
株式会社

鹿児島県鹿屋市

Hiramatsu Chikusan >>>

大型農機と飼料工場が支える
「土から育てる」牛づくり



独自の循環型モデルを組み立て 地域の品質向上にも貢献する 日本有数の大規模畜産業

大隅半島のほぼ中央に位置する鹿屋市で、1万5,000頭を超える、大規模畜産業を営むのが、ひらまつグループの平松畜産株式会社。「土から育てる和牛」をモットーに掲げ、土づくりから餌づくり、繁殖・哺育、肥育までを一貫して行い、グループとして精肉販売や飲食店経営にも取り組む。その規模を支える、独自の循環型農業モデルについて、大型農業機械を駆使した飼料作物の生産と、自社工場でのTMR(完全混合飼料)生産を中心に取材した。





平松正弘代表取締役社長



大型農業機械がすらりと並ぶ

たったの牛10頭から始めた夢は ピンチをチャンスに規模拡大

畜産県・鹿児島県の中でも、最も生産規模の大きい鹿屋市。いわば日本の畜産の中心地で、トップランナーを歩む生産者が、平松畜産株式会社を中心としたひらまつグループだ。その規模は、繁殖・哺育、肥育を合わせて飼養頭数約1万5,500頭に達している。

この規模を一代で築き上げたのが、現在の代表である平松正弘社長だ。40年前に親から畜産業を受け継いだ時には、牛10頭という小さなスタートだった。

転機になったのは、2001年のBSE問題。牛肉の安全・安心に不安を感じた消費者の牛肉消費量は落ち込み、子牛価格も低落した。畜産業界は危機を迎えたが、平松社長は挑戦の時と捉えた。「ちょうどその時に、出資をしてくれる方が見つかったのもあり、牛の頭数を増やすことにしました。悪いことは長くは続かないと思っていた通り、翌年の夏には価格が戻っていました。それから年間1,000頭を目標に、繁殖をずっと増やしてきました」と平松社長は振り返る。

牛を増やし、牛舎を増やし、外部の生産拠点を

増やし、現在の規模にまで拡大。飼料の生産から繁殖・哺育、肥育、そして精肉販売や直営飲食店での和牛肉の提供までを一貫して行うひらまつグループをつくり上げた。

規模拡大後も変わらぬ信念が 土づくりを基礎とした循環型農業

平松畜産が掲げているテーマが「土から育てる和牛」。創業時から変わらぬ信念として「良い牛を育てるのは牧草であり、良い牧草を育てるのは土」という考えを元に生産体制を築いてきた。堆肥による土づくりをし、育てた作物を中心にTMRを作って牛を育て、牛から出た排泄物などを発酵させ堆肥にする、独自の循環型農業を行っている。

「一般的には、牛の糞尿は産業廃棄物扱いですよ。でも私たちは、牛から出たものはエネルギー、つまり価値があるものだという考え方で」と平松社長。「糞尿は生のまま入ると土が死んでしまうので、発酵堆肥にしてから土に還し、きちんと循環させる。冬場に堆肥を入れ、微生物が増えた土に種蒔きをするのが理想ですね」

この循環型農業を支える95名の従業員は、農



TMRセンター第一工場。1日の製造量は第二工場と合わせて210t体制



場で生産を行うアグリ部門、工場での飼料生産を行うTMRセンターなど部門を分け、それぞれの部門ごとの業務に専念させる。徹底した分業制を取ることでエキスパート集団を育て、かつ業務管理を徹底することで、ほぼ残業の発生しない持続可能な生産現場を作り上げている。

飼料作物の大規模生産は 大型農機・作業機により効率化

牛の飼養頭数とともに農地も拡大を進めている、本社のみでも約160ヘクタールの大圃場で、デントコーン、えん麦、WCSなどを時期を変えて収穫している。

畑作の作業は、ある時期に集中して発生する。大規模な農場での適期作業を可能にするのが、大型農業機械の数々だ。「かつては作業が多い時期は、期間限定の作業員を雇うこともありましたが、どこも人手不足の現代にそれは現実的ではありません。作業を効率化して生産性を上げることが必須であり、それには規模に見合った農業機械を導入することが一番です」と平松社長。農機の導入については「自分でももちろん調べますし、現場のスタッフも意見を出してく

れます。さらにエム・エス・ケーからは、現在の所有農機の稼働率や、新しい機械を入れた場合の作業効率のシミュレーションなど、数字を付けて導入の提案をしてくれます。それらを参考にして農機を増やしてきました」とさまざまな経路で情報を収集し、必要な農機は惜しみなく導入する。

昨年、圃場面積が増えた際に導入したのが、8条の同時播種が可能なKUHN MAXIMA3RT8Rだ。農作物を育てるアグリ部門の横山京司さんは「それまで4条タイプを使っていましたが、8条タイプを2台入れたので、作業効率がかなり上がりました」と導入効果の手応えを感じている。「忙しい時に最も大変なのは農機のトラブルで作業が止まることですが、エム・エス・ケーさんに対応が早いのが助かっています」とサポート体制の重要性についても触れた。

TMRセンターでの飼料生産は 南九州の畜産現場も支えている

牛、特に繁殖牛の健康維持のためには、1年通して同じ質の餌を食べさせることが理想となる。輸入飼料に頼るとその時々に入るものの品質にばらつきがあるため、自社栽培の割合を増やす

ユーザー探訪 平松畜産株式会社

▶▶ Hiramatsu Chikusan



KUHN MAXIMA3RT8Rを取り付けたMF7722S EXDV。
適期に限られる播種作業に大活躍した



ことに注力してきた。だが、自社栽培のみでもまた、天候不順や大雨災害などの影響を受けやすくなる。そのため、平松畜産では自社栽培の牧草やデントコーンを中心に、他飼料や、乳酸菌・黒酢もろみなどのプロバイオティクスを配合して、90日以上熟成したオリジナルの長期熟成発酵飼料を生産している。「九州の中だけでなく、広島、北海道までさまざまな生産現場を視察して、飼料生産を学びました。チューブバックでのサイレージに取り組んだ事もありましたが、南九州の気候には合わないと感じた。そこで、自分たちでTMRを生産しようと決めました。都度の生産をしているには品質にムラができるので、センターを設立して大規模に生産可能な体制を築きました」と平松社長は説明する。

エム・エス・ケーが設計・設備導入を担当し、2017年にTMRセンター第1工場が完成。発酵期間を模索するうちは失敗もあったが、デントコーンを収穫後に最低半年以上熟成させてから混合する方法を確立した。デントコーン収穫の効率化のために導入したCLAAS JAGUARは、飼料の品質向上にも役立っている。実装されたコーンクラッカーで一粒一粒に傷を入れながら収穫することで、デンプン消化率を高められ、特に繁殖牛の乳の出や品質が上がる。

自社で製造した飼料を、鹿児島県内の畜産農家に販売する事業も開始した。増産体制が求められる、2020年には第2工場を開設した。「当社の飼料を使う生産者さんは30～40軒に増え、軒並み成績も上がっています」と、平松社長は南九州の環境に合わせた飼料生産に手応えを感じている。一方で、さらなる品質向上を見据え、課題に取り組むことにも余念がない。「飼料作物の質や配合、発酵期間などのノウハウは積み上げましたが、圧縮してパッケージする工程についてはまだ確立できていないと感じます。エム・エス・ケーさんとお互いに勉強しながら、ふさわしい機械を新たに開発することも今後は必要になってくると思っています」

循環型農業をさらに突き詰め
夢のある畜産現場を作りたい

TMRセンターを稼働し、パッケージ飼料を外部生産者にも提供する中で、現在平松社長が注目しているのが飼料提供後に出る大量の使用済みフィルムだ。「外部の工場に頼んで再利用することもできるのですが、自分たちで、資材も含めた循環型農業というのを確立したい」と今後の目標に据える。



アグリ部門の横山京子さん

■ 平松畜産株式会社で活躍中の エム・エス・ケー取り扱い機

●トラクター

- ・MF7722S EXDV
- ・MF7718EXDV
- ・MF6616EXDV
- ・MF5710C
- ・MF6613ESD4
- ・MF6465-4C D6
他4台

●作業機

- 〈パワーハロー〉
 - ・HR5004DRCDURAKUHN
 - ・HRB303D
- 〈真空播種機〉
 - ・MAXIMA3RT8R 2台
- 〈自走式フォーレージハーベスター〉
 - ・JAG860
 - ・JAG850
- 〈細断型ペーラーラッパー〉
 - ・LT-MASTER
 - ・MW1231 3台

また、グループ企業として精肉販売や飲食店なども持ち、直接消費者に商品を届ける活動にも取り組んでいる。「商品を作ったらそれまでではなく、何%かだけでも自分たちできちんと最終消費者まで届ける仕組みを持っておきたいと思いました。販売を大規模にしていく予定はありませんが、商品の魅力についても、きちんと自分たちから消費者に伝えられないといけないのではないかと思います」と平松社長は意図を説明した。

頭数を増やし、繁殖牛から子牛、肥育牛まですべてを育てる畜産現場。大規模になったからこそ、さまざまなことが事業として成り立ち、挑戦

ができる環境があると平松社長は話す。「もちろん、挑戦には時に失敗も伴います。大きな農業機械を入れたり、工場に投資するのはリスクもありますが、リターンとして費用に見合った効果を上げるということに加えて、職場の魅力を増し、夢のある仕事にすることにも一役買うと思っています。夢がある仕事は楽しいから、活気も出る。これからの人たちに、畜産を夢のある仕事だと思ってほしいというのも挑戦の原動力になっています」。平松社長の思いは現場にも届いており、各部門の士気は高い。この熱を次世代にもつなぎ、同社は日本の畜産現場をこれからも牽引していく。





Massey Ferguson MF8Sシリーズに新型ミッション登場!

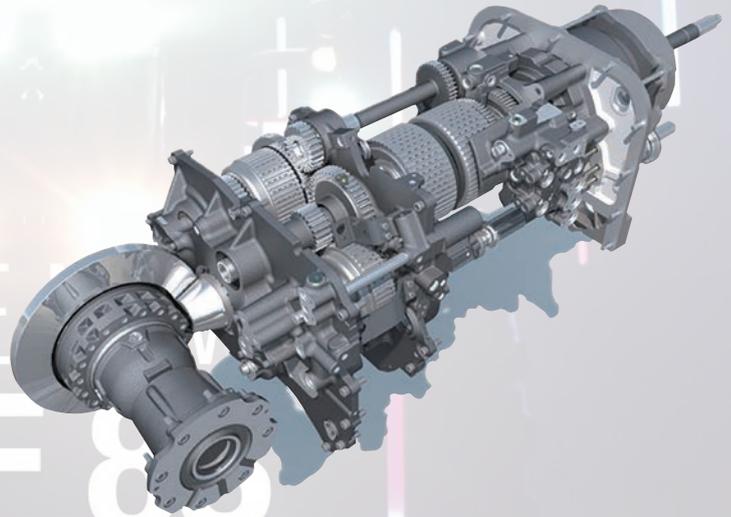
デュアルクラッチの Dyna-E Powerミッション

現在、日本国内に輸入しているMFトラクターの中で最大モデルとなるMF8S。Dyna-VTミッションのみの取扱いとじていましたが、これまでのシリーズに無い完全新型トランスミッションであるDyna-E powerの取扱いを開始しました。

内部構造は主変速4段x副変速7段という機械式のトランスミッションでありながら、デュアルクラッチを搭載した事で、よりスムーズな変速を提供します。

	MF8S245EXDEP	MF8S265EXDEP
定格出力	252.9 PS / 1,950 rpm	277.4 PS / 1,950 rpm
最大出力	265.1 PS / 1,850 rpm	291.0 PS / 1,850 rpm
機体質量	9,730 kg	9,740 kg
変速段数	前進 28 / 後進 28	

DynaE-Power



取扱いメーカーに新たに BERGMANN が加わりました!

NEW!!

HTW40
サイレージ
トランスポートワゴン

BERGMANN

...die Spezialisten

BERGMANN

1896年にドイツで創業された、歴史ある農業機械メーカーです。

- ・ 高い耐久性、信頼性
- ・ 油圧駆動のコンベアによる排出
- ・ 油圧式ロック付きアクスル
- ・ 最適な牽引を実現するボギーシャーシ



荷台寸法(cm)	746×240×220
荷台容積(m)	42.1
最大積載重量(kg)	22,000

CLAAS モアコンディショナー

NEW!! DIS9700CAS / DIS9700CASHYD

CLAASバタフライモアに大型モデルが登場!

☆油圧によりトラクターから作業幅の調整が可能(可動幅700mm)

- ・ ACTIVE FLOATによる最適な接地圧
- ・ 幅900mmの大型スワーカーベルト
- ・ 油圧式ノンストップ衝突保護機構



作業幅(m)	8.80/9.50
適用馬力(kW/PS)	184/250
ユニットごとのモアディスク	8
ディスクごとのブレード数	2



be strong, be **KUHN**

EL162 BIOMULCH

シンプル・高効率 新型パワーティラー



BOOST YOUR LEVEL OF ORGANIC MATTER!

様々な条件下での残渣粉碎及び表層混和が可能。
革新的な新しい作業を。



100年以上にわたる経験と
斬新な発想から誕生したマニユアスクレーパー
これまで時間と手間が掛かった除糞～ピット運搬がこれ1台で完了

“気重”な作業が“気軽”に変わる！
待望の自走式マニユアスクレーパー 強力な吸引力で
瞬時に終わる除糞作業

自走式
スクレーパー



けん引式
スクレーパー



型式	容量(t)	幅(m)	高さ(m)	タイヤサイズ	エンジン
MOD-0954	12,303	259	305	310 17.5R25	C7.1
MOD-0955	14,195	259	305	371 17.5R25	C7.1
MOD-0956	15,142	259	335	310 17.5R25	C7.1
MOD-0957	17,034	259	335	371 17.5R25	C7.1

型式	容量(t)	幅(m)	長さ(m)	高さ(m)	タイヤサイズ	送風機PTO駆動
MOD-1026	5,678	267	665	264	480/80R-26 Single Axle	Blower 360
MOD-1027	9,464	259	643	295	480/80R-38 Single Axle	Blower 360
MOD-1028	12,113	267	812	284	480/80R-26 Tandem	Blower 360
MOD-1029	12,113	259	734	295	480/80R-38 Single, Rigid	Blower 360
MOD-1030	12,113	259	734	295	480/80R-38 Single, Steer	Blower 360
MOD-1031	15,142	267	935	302	480/80R-26	Blower 360
MOD-1032	18,927	325	968	302	480/80R-38	Blower 360
MOD-1033	22,712	363	996	345	30.5 x 32 Radial	Blower 360
MOD-1034	24,605	363	1041	345	30.5 x 32 Radial	Blower 360
MOD-1035	26,498	363	1087	345	30.5 x 32 Radial	Blower 360

狭幅(幅狭)タイプ

型式	容量(t)	幅(m)	全長(m)	高さ(m)	タイヤサイズ	送風機PTO駆動
MOD-1042	22,712	320	986	348	30.5 x 32 Radial	Blower 360
MOD-1041	26,498	320	1046	348	30.5 x 32 Radial	Blower 360

*数値に若干誤差が生じる場合がありますので、詳細については別途お問い合わせください。



テーマは“時間短縮”
高温・高速、大量の収穫物も一気に乾燥、即座に移動
移動式穀物乾燥機

イタリアで60年以上乾燥機を専門とし、
常に効率化を求め開発を行ってきた
メックマール社が誇る移動式穀物乾燥機
トラクターのPTOで駆動。
ホイール付でラクラク移動。



STR

型式	STR13
容量(t)	13
容積(m ³)	17
全長(m)	4.65
全幅(m)	移動時 2.45
全高(m)	4.545
全幅(m)	作業時 4.02
全高(m)	6.685
トラクター所要馬力PS(kw)	50[76]
生産量(t/h)	3.6
乾減率(%)	25-15
振込時間(分)	13
排出時間(分)	13
パナール燃焼能力(kw)	255~830
燃料タンク容量(ℓ)	550

SSI

型式	SSI25
容量(t)	25
容積(m ³)	33
全長(m)	4.65
全幅(m)	移動時 3.15
全高(m)	4.64
全幅(m)	作業時 4.77
全高(m)	7.655
トラクター所要馬力PS(kw)	90[67]
生産量(t/h)	6.0
乾減率(%)	25-15
振込時間(分)	25
排出時間(分)	25
パナール燃焼能力(kw)	356~1186
燃料タンク容量(ℓ)	1000

営業所
だより

営業所紹介

大隅営業所

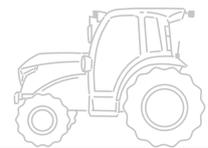
鹿児島県の大隅半島は豊かな自然に恵まれ、畜産をはじめとした農業が大変盛んな地域です。

大隅営業所は約30年前に営業所を設立しスタートしましたが、農業機械の大型化や、お客様の増加に伴いヤードが手狭になったこと、また車検対応のトラクターの増加に対応するために認証工場を取得すべくこの度新社屋に移転する運びとなりました。ヤードも広くなり、修理工場を充実させたことでアフターサービス体制が向上しました。

事務所の内装については、良い意味で農業機械の会社らしくない落ち着いた雰囲気コンセプトに、お客様がお越しの際にもご満足いただけるよう考えてデザインしました。

現在は為替の影響等もありお客様共々厳しい農業情勢が続いておりますが、お客様と共に歩み成長していける営業所を目指し今後も邁進したいと考えておりますので、ご協力の程よろしくお願いたします。

お近くをお通りの際は気兼ねなくお立ち寄り下さい。



お客様と一緒に
いつも明るく笑顔の絶えない
前向きな営業所を目指します！
たまに喧嘩します。



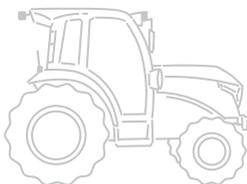
十勝支社

十勝支社の旧社屋は、1977年に竣工されましたが、竣工当時には、『こんな大きな工場を建ててどうするのか』と言った声が、社内外から聞かれたと聞いておりました。

現在、十勝管内のお客様は、多くの大型機械を有し、かつて持て余していた工場が手狭な状況となり、この度の新社屋は、以前の2倍の広さになり、弊社としてはこれまでで最大規模の施設となっております。

これまでは手狭な事務所で、お客様にご迷惑、ご不便をおかけしてまいりましたが、これからは快適な空間で皆様をお迎える事が出来るのではないかと考えております。

十勝地方は、食料供給拠点としての重要性がますます求められている中で、この十勝支社を通じて、皆様に多方面からしっかりと支援させて頂き、皆様と共に更に発展していく会社でありたいと考えております。

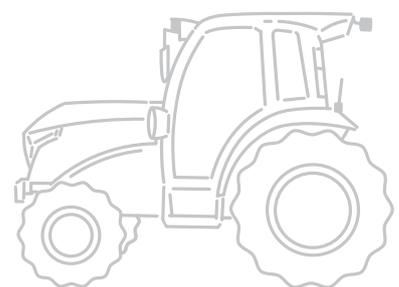




10時から開催された特別展示会には
生憎の雨の中でも600人を超えるお客様が
新型トラクターを中心に展示した20点以上の機械を
新工場とともに見学され
満足そうに滞在されていました。



この度の竣工式、
お披露目会に於いてお祝いのお花や、
お酒等々、多数のご丁重なる
お祝儀うけたまわり
まことに有難く厚く御礼申し上げます。



新入社員に聞きました!

入社式



なるべくはやく仕事になれるように
がんばりたいです。

北海道出身 好きな食べ物
バナナ

好きなものや趣味
サッカー観戦

入社前と入社後のギャップ
農業や農機の知識がまったくなかったけれど、
1から教えてもらい、不安がなくなった

早く仕事を覚え、多くの人々に貢献
できる人材になれるよう努力してい
きたいと思います。

東京都出身 好きな食べ物
えび、かに

好きなものや趣味
旅行

職場での働きやすさ
おおむね満足している。不満点や不安点は
現時点ではない。また、入社前に感じていた
不安はほぼ感じず、そのほとんどが杞憂で
あったことがわかった。

早く仕事を覚えれるようがむしゃら
に一生懸命頑張ります。

熊本県出身 好きな食べ物
サラダ

好きなものや趣味
友達と飲みに行くこと

入社して良かったこと
会社自体が暖かい雰囲気ですぐ教えてく
れるので心配なくわからないところなどを
聞けたりすること

実技講習



入社式集合写真





★ 集合写真 ★

はやく仕事を覚えられるようにしたいです。

福島県出身 **好きな食べ物**
寿司

好きなものや趣味
ドライブ

職場での働きやすさ
スケジュール予定が決まっていたよかった。
働きやすかった。

はやく会社に貢献できるように
一生懸命頑張ります。

沖縄県出身 **好きな食べ物**
じゃがいも

好きなものや趣味
車、バイク

入社して良かったこと
研修期間が多いことでトラクターについて
などを多くの期間学ぶことができること

★ トラクター走行演習 ★



早く色々覚えていきたいです

熊本県出身 **好きな食べ物**
肉

好きなものや趣味
日ハム

当社へ志望した決め手
サービス部の仕事内容にやりがいがあると
思えた。

★ ビジネスマナー講習 ★



早く一人前になれるように頑張ります！

北海道出身 **好きな食べ物**
焼き鳥

好きなものや趣味
散歩

入社して良かったこと
研修が充実していて安心できる！
社員の方々が優しい。
福利厚生がとても充実している

★ 2024 新入社員と採用担当 ★





スマート農業導入による 農業の新たな展開

農政の憲法といわれる「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに大幅改正された。基本法ではスマート農業技術を活用した生産性の向上などに取り組むことが盛り込まれ、新たに「スマート農業技術活用促進法」も成立した。スマート農業はデータ利用による次世代への農業技術の円滑な承継や作業の自動化・ロボット化による省力化に大きな効果があり、これから国を挙げてスマート農業の社会実装を進めることになる。

わが国の基幹的農業従事者数は2050年には2020年比で1/4になるという試算がある。もしその通りになると、2050年には一人当たりの作業量が今の4倍にならないと現在の食料生産力は維持できないことになる。さらに従事者の高齢化も進行すると、今の4倍どころか5倍以上の労働力が必要になるだろう。

近年、農業生産力向上のためにさまざまなロボット農機の実用化が進んでいるが、これは日本に限ったことではない。自動化・ロボット化は世界の潮流である。海外も日本同様、農作業の人手不足が顕在化していることに一因はあるが、特に欧州では地球環境保全の観点から農業の持続可能性に注目している。欧州委員会は2020年に「Farm to Fork戦略」を策定し、2030年までに全農地面積の25%を有機農業にするという目標を設定。その実現にロボット導入が注目されている。日本も農林水産省が2021年に「みどりの食料システム戦略」を制定し、農業に起因する環境負荷を低減させるために、2050年までに化学農薬使用量の50%低減、化学肥料使用量の30%低減、そして有機農業の取組面積を日本の耕地面積の25%（100万ha）に拡大するという目標を設定した。環境への配慮を生産性の犠牲なくして行うことが条件となる近代農業では、今まで以上の食料生産のスマート化が必須となる。

農林水産省は2019年度から「スマート農業実証プロジェ



のぐち のぼる

野口 伸

プロフィール

北海道出身。北海道大学大学院農学研究所博士課程修了。北海道大学助手、助教授を経て2004年より北海道大学大学院農学研究院教授。現在は農学研究院長。日本学術会議連携会員。専門はスマート農業。近著に「スマート農業の基本」（誠文堂新光社）がある。

クト」を開始し、すでにスマート農業の普及拡大に注力している。筆者もこれまでに北海道岩見沢市の「スマート農業技術導入による地域水田農業の活性化プロジェクト」（2019-2020年度）をはじめ3課題の実証プロジェクトに参画した。これらのプロジェクトから作業の省力化・省人化、可変施肥による化学肥料削減、情報活用・遠隔指導により農作物の品質・収量の高位安定化に対して、スマート農業が有効であることを定量的に明らかにした。

これからの北海道農業は、地域農産物をブランド化して国内供給のみならず海外輸出まで視野に入れて生産すべきであろう。そのためにはスマート農業技術を用いて北海道庁が進めている「クリーン農業」を実践しながら、三定（定時・定量・定品質）が担保された安定した生産供給体制の構築が必要である。地域の生産者が周囲の作業状況を共有することができれば生産の拡大・安定化、品質の平準化につながる。また作物の生育シミュレーションとリモートセンシング技術によって出荷量・出荷時期を高精度に予測できれば、産地間連携が高度化でき、リレー出荷やロジスティクスの最適化による物流コストの削減も可能になる。さらにスマート農業に含まれるAIやロボットといった先端技術は若い世代の農業への関心を高める効果があり、就農意欲を喚起させられる。

スマート農業は機器購入など初期投資を必要とするため、一朝一夕に普及が進むものではない。まず、生産者に対してスマート農業を導入することによって経営改善がなされるということに確信を持ってもらう必要がある。スマート農業の進展は極めて早い。生産者はもとより、自治体、普及センター、JAなど農業関連組織は技術動向と国内外の取り組みに敏感になることが、今後ますます重要になるであろう。

土地開発にまつわる怖い一面

2025年(令和7年)の干支は巳年。脱皮を繰り返して成長する蛇は「再生」のシンボルとされ、蛇の夢は縁起が良いと言われる。日本の神話や民話に登場する動物でいちばん多いのは、実は蛇なのである。

さて、昔話の中では、水に潜むヌシの多くが蛇とされる。退治された大蛇を村の守り神や水神としてまつる話は多く、藁わらなどで作った大蛇が登場する祭りも数多い。例えば兵庫県丹波篠山市に伝わる「鱧切り祭り」。沼地の埋め立てに怒る大蛇を、酒に酔わせて退治したという伝説にもとづき、大蛇に見立てた2mもの鱧を一刀両断する、全国でも珍しいお祭りだ。

蛇退治のヒーローといえば日本神話に登場するスサノオノミコトが有名だが、実在の人物が主人公とされることも多い。

織田信長に仕え、鉄砲隊を率いた猛将・佐々成政もその一人。成政は今の北陸道改修の際、山あいの深い淵にすんでいた大蛇を、そこに大砲を打ち込むという荒っぽい方法で退治したとされる。蛇退治の多くは、土地開発の歴史と深く結びついている。

交渉する蛇、助ける蛇

蛇たちは一方的に退治されるばかりではない。江戸時代、徳川吉宗の命で武蔵野見沼(今の埼玉県)の干拓を行っていた治水家・井澤弥惣兵衛の元には、「見沼のヌシ」と名乗る美女が現れ、「次のすみかを見つけるまでの間、工事を中止してください」と頼んでいる。大暴れする大蛇に比べ、ずいぶん優しい印象だ。

長野県の上田市や松本市には、大蛇の子が英雄となる言い

column 20

耕の記憶

民話から紐解く—
“怖いけれど守ってくれる…”
プロフィール
蛇神さまの横顔

伝えがある。泉小太郎は母親である竜の背中に乗って山を切り拓き、湖の水を日本海へと押し流した。その湖の跡が、今の松本盆地なのだという。これらの伝説は、恵みと災いの両方をもたらす水との、永い闘いの歴史を思わせてくれる。

よみがえる蛇神さま

蛇が主役の祭りは、意外に新しいものも多い。例えば東京都世田谷区の奥沢神社「大蛇お練り」は江戸中期に始まった。名主が見た夢のお告げに従い、藁の大蛇を担いで村を回ったところ、たちまち疫病流行が治まったという。ユーモラスな姿の藁蛇は、現在も巡行の後神社の木に掛けられ、街を見守っている。このほか、1988年に始まった新潟県岩船郡関川村の「大したもん蛇まつり」には、重さ2tの巨大藁蛇が登場する。82.8mという長さは、1967年8月28日の羽越大水害の記憶を後世に伝えるためだという。世界一長い藁蛇

として、ギネスブックに認定されている。蛇の祭りや伝説が、形を変えて繰り返しよみがえるのは、私たちの中に眠っている「自然への畏怖」や「生命力」を呼び起こそうとしているからかもしれない。

WHO(世界保健機関)のロゴマークを思い出してほしい。1948年、WHOは「全ての人ができる限り最高の健康状態に到達すること」を願って、地球とオリーブの枝とともに「杖に巻き付いた蛇」が描かれたデザインロゴマークを採用した。その杖は、古代ギリシア神話に登場する医学の神・アスクレピオスが持つ杖に由来するという。「平和」と「医療・健康」を象徴するそのロゴマークは、今も世界中で医療従事者を中心に広く認知されている。

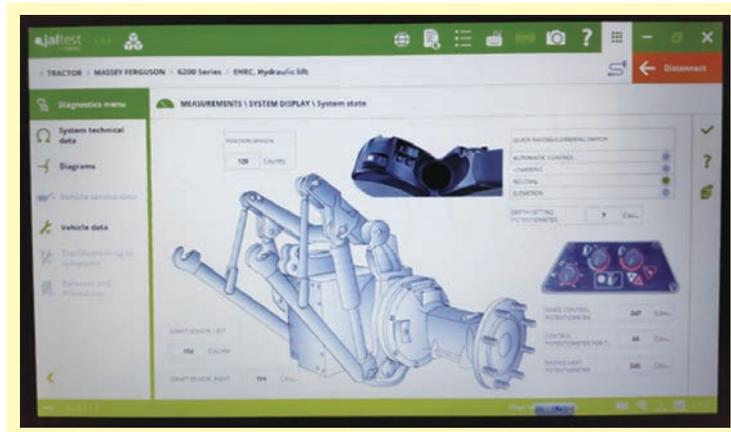
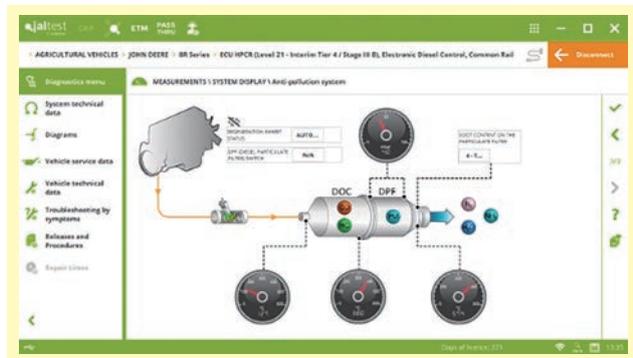
数々の昔話が語り継がれ、私たちの生活や行事に深く影響している蛇。脱皮を通して「成長」を続けることから、「再生」のシンボルとされてきた理由に合点がいく。

JALTESTご紹介

JALTEST は、農業機械の各種診断とメンテナンスを行うために設計されたマルチブランド、マルチシステムの診断ツールです（スペインの COJALI 社製）。このツールは、複雑な診断作業を簡単かつ直感的に実行できるように開発されており、世界中の 25,000 以上の整備工場で利用されています。JALTEST 診断ツールは、年 3 回のアップデートを通じて新しいブランド、モデル、システムが追加され、最先端の診断機器を維持することができます。各種の農業機械の診断に必要なハーネスをご用意しています。各機能の診断、各部品の点検、測定、ECU データの読み取りなど、多岐にわたる機能を提供します。



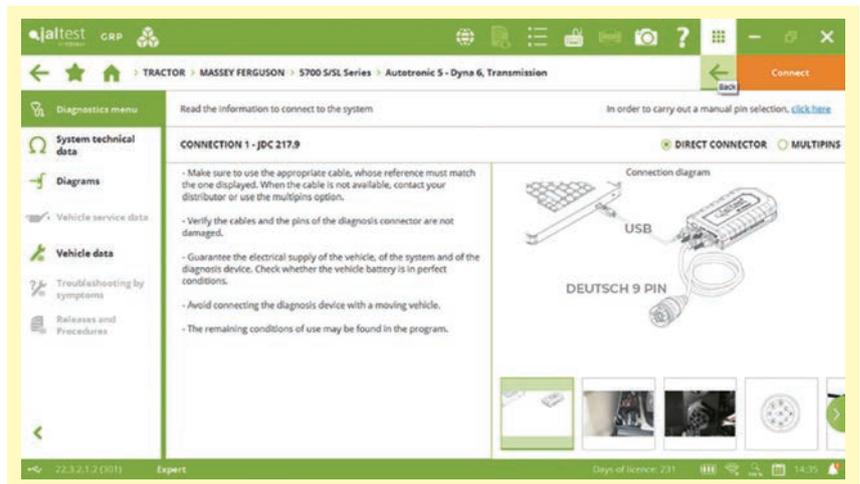
・JALTEST 診断機器にはパソコン本体は含まれません。



・JALTEST 画面は日本語で説明が表示されます。

・JALTEST 診断機器は簡単に機械に接続することができ、PC 画面に機械の接続手順の説明が表示されます。

・ソフトウェアは定期的に更新され、新しい車種やシステムに対応し、常に最新の情報を提供します。





WORLD TOPICS



MASSEY FERGUSON

アグリテクニカアジア マッセイファーガソン ディーラーミーティング in バンコク 2024

5月22日～24日タイ、バンコクにてアグリテクニカアジア 2024 が開催されました。

ドイツのハノーファーにて開催される世界最大級の農業機械展示会アグリテクニカの主催団体であるDLGがアジア市場向けとして隔年で開催している国際展示会です。

コロナ禍が明けマスクなしでの参加可能となった今年の展示会には

73 か国から 353 団体が出展

12,129 人の来場者を記録

アジア最先端の農業機械や技術の展示、セミナーが行われ活況を呈しました。



次回は 2026 年 5 月 20 日～22 日に再びバンコクで開催されます。バンコクは日本各地から直行便が多く就航し、グリーンカレーやトムヤムクンなどに知られる美味しいタイ料理、美しい寺院の数々、エスニック雑貨からブランド品のショッピングも楽しめます！

大都会のバンコクから足をのばせばプーケットなどリゾート、ゴルフステイ、世界遺産アユタヤでの文化体験など魅力いっぱいです。

ぜひ皆様もアグリテクニカ展示会とタイ観光を兼ねて訪れてみてはいかがでしょうか！



↑ 会場中央で最大のブース面積を誇るAGCO社
新型Sシリーズやグローバルシリーズ、フェント500G3など多く展示



↑ CLAASブース
東南アジア圏を意識した機械の展示が目立ちました



↑ ディーラー合同会議の集合写真
(タイ、カンボジア、マレーシア、インドネシア、フィリピン、韓国などアジア各国のディーラーとMF、FENDTのメーカー担当者)

アグリテクニカアジアの会場では、AGCO社主催にてアジア圏のマッセイファーガソンディーラーの合同会議が行われました。

弊社もちろん参加し、AGCO社、他国のディーラーと関連な意見交換をおこないました。

フェント、クラスなど弊社の取り扱いメーカーともミーティングを設け関係強化を約束しています。

弊社はこれからも各メーカーとの関係を強化し、お客様にベストな提案、サービスをお届けしてまいります！



MSK FARM MACHINERY CORPORATION

エム・エス・ケー農業機械株式会社

〒061-1405 北海道恵庭市戸磯193番地8 TEL:0123 (33) 3100 FAX:0123 (33) 3123

道 央 ☎0123(82)1000	東 部 ☎0156(22)2411	中標津 ☎0153(72)2608	栃 木 ☎0287(63)8435	羽 鳥 ☎0584(65)0180	宮 崎 ☎0986(38)2448
俱知安 ☎0136(23)2232	南 部 ☎01558(6)3639	標 茶 ☎015(485)2972	西関東 ☎0279(30)5581	津 山 ☎0868(28)7720	鹿児島 ☎099(294)3030
八 雲 ☎0137(64)3121	北 部 ☎0155(62)2455	青 森 ☎0176(27)3106	千 葉 ☎043(445)3621	三 次 ☎0824(63)5229	大 隅 ☎0994(62)4088
富 川 ☎01456(2)2831	中 部 ☎0155(62)2455	岩 手 ☎0195(70)2900	長 野 ☎0267(91)2121	九州北 ☎0952(51)2488	
士 別 ☎0165(29)8130	美 幌 ☎0152(73)1121	仙 台 ☎022(344)3181	松 本 ☎0263(58)0702	大 分 ☎097(588)1491	
富良野 ☎0167(39)2260	斜 里 ☎0152(23)3813	福 島 ☎024(963)2236	富士宮 ☎0544(28)5058	熊 本 ☎096(292)0115	
豊 富 ☎0162(82)1235	紋 別 ☎01586(5)3855	茨 城 ☎0298(23)3424	名古屋 ☎0566(99)7200	球 磨 ☎0966(38)3671	

弊社ホームページ

<https://www.mskfm.co.jp>



MSK YouTubeチャンネル

/エム・エス・ケー農業機械



MSK Instagram 公式アカウント

@mskfarmmachinery



MSK X 公式アカウント

@mskfm_corp

